

まちづくり交付金 事後評価シート
白市駅前周辺地区

平成21年 3月

広島県東広島市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	広島県	市町村名	東広島市	地区名	白市駅前周辺地区
計画期間	平成17年度～平成19年度	まちづくり交付金交付期間	平成17年度～平成19年度		
モニタリング実施時期	—	事後評価実施時期	平成19年4月～平成19年12月	フォローアップ実施時期	平成20年5月

1) 事業の実施状況	当初計画どおり実施した事業	道路(市道小谷12号線) 地域生活基盤事業(耐震性貯水槽) 公営住宅等整備(小谷五百垣住宅) 地域創造支援事業(排水路整備) 地域生活基盤事業(コミュニティー広場)
	当初計画から変更した事業 (変更した内容)	地域創造支援事業(市道小谷11号線(延長0m→39.0m)) 地域創造支援事業(白市駅前住宅(0戸→8戸))
	変更した理由、目標・数値指標への影響等	地域創造支援事業(白市駅前住宅)：新設した小谷五百垣住宅への住み替えを促進及び住環境を改善するため、白市駅前住宅の解体(用途廃止)を新たに計画した。 地域創造支援事業(市道小谷11号線)：小谷五百垣住宅の整備に合わせ、道路機能の向上を図るために市道小谷11号線道路改良を新たに計画した。 地域生活基盤事業(コミュニティー広場)：小谷五百垣住宅の建替計画において、配置・平面・設備及び駐車場等の実施設計段階で広場面積縮小が必要となったため。 ただし、目標及び数値指標への影響はなし。

2) 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標		単位	達成度			達成見込みの有無		効果発現要因 総合所見
	モニタリング	事後評価		フォローアップ	あり	なし			
指標1	市営小谷五百垣住宅の建替によるバリアフリー化(46.6/50)	%	—	○	○				市営小谷五百垣住宅の建替えにより、バリアフリー対応戸数の割合が向上し、高齢者・障害者が暮らしやすい居住環境が整備され
指標2	市道改良による道路狭隘率の改善度の割合(45.3)	%	—	○	—				12号線の道路改良により道路狭隘率が改善され、安心して住みやすい住宅ゾーンが形成された。
指標3	貯水槽設置による消防水利の充実度(消防水利範囲内の住宅世帯数)(40/41)	世帯	—	○	○				耐震性貯水槽の整備により、消防防災性の向上が図られた。
指標4	地域ふれあい広場の誘致距離の拡充度(誘致距離内の住宅戸数)(300/305)	戸数	—	○	○				地域ふれあい広場の整備により、市営小谷五百垣住宅周辺地区のコミュニティ形成の場が提供できた。
指標5									

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		数値		効果発現要因 総合所見
	モニタリング	事後評価		基準年度	フォローアップ			
その他の数値指標1								
その他の数値指標2								
その他の数値指標3								

4) 定量的に表現できない定性的な効果発現状況
 新築住宅入居者からは「従前の老朽化した木造住宅のような段差が無く、トイレ・浴室や玄関に手摺りがあり、かつ各種水回り設備も使い勝手よい、また明るく衛生的で安心して暮らせて満足している。」等の意見があった。
 地域ふれあい広場の利用を想定した小谷小学校・小谷保育所と住民の世代間交流イベントが計画されつつあり、地域コミュニティ向上に対する機運が高まっている。
 また、防火貯水槽の整備を契機として地元消防団による消防訓練などが実施されることとなり、防火・防災意識の向上がうかがえる。

5) 実施過程の評価	評価項目	実施内容	実施状況			今後の対応方針等
	モニタリング	事後評価	フォローアップ	あり	なし	
5) 実施過程の評価	モニタリング	—	予定どおり実施できた	—	—	
	住民参加プロセス	—	予定していなかったが実施した	—	—	
			予定したが実施しなかった・できなかった	—	—	
予定どおり実施できた			—	—		
持続的なまちづくり	—	予定していなかったが実施した	—	—		
		予定したが実施しなかった・できなかった	—	—		
		予定どおり構築できた	—	—		

様式2-2 まちづくり交付金の成果及び今後のまちづくり

白市駅前周辺地区(広島県東広島市) まちづくり交付金の成果概要

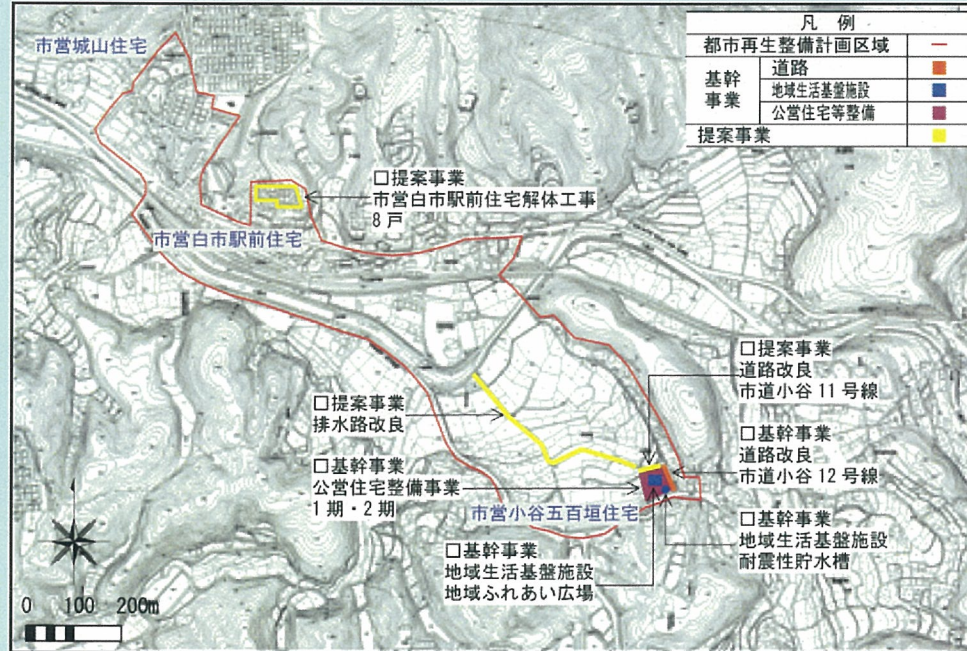
まちづくりの目標	環境を生かした安心して住みやすい住宅ゾーンの形成	まちづくり交付金の代表的成果	計画以前の値	従前値	評価値	
			市営住宅のバリアフリー化(単位;%)	0%(H11年度) → 16.6%(H16年度) → 50%(H19年度)	→	→
			道路狭隘率の低減(単位;%)	47%(H11年度) → 45.3%(H16年度) → 45.3%(H19年度)	→	→
			貯水槽消防水利の拡充(単位;世帯)	0世帯(H11年度) → 40世帯(H16年度) → 41世帯(H19年度)	→	→
			公共空間の拡充(単位;戸数)	250戸(H11年度) → 300戸(H16年度) → 305戸(H19年度)	→	→



公営住宅整備事業



道路改良(市道小谷12号線)



地域ふれあい広場



防火貯水槽設置

今後のまちづくりの方策
(改善策を含む)

●安全・安心な住環境の改善

地区内の個人住宅における耐震性・安全性の向上を推進し、個人住宅のバリアフリー化及び耐震補強等の改修工事に対する公的支援事業の導入を図る。

●住民の防災意識の啓発

住民等による防災訓練の実施、自主防災組織の立上げ、ワークショップ形式での住民主体による防災意識の向上を図る。

●地域コミュニティの活性化

小谷五百垣住宅の建設を契機とした地区住民の交流機会を提供するため、活発に行われている盆踊り等のイベント開催や、住民による花壇の整備運動等のコミュニティ活動を更に促進する。

●交通安全対策の推進

地区内の歩行者・車両通行の安全・安心を確保するため、狭隘道路の改善を今後も引き続き推進する。